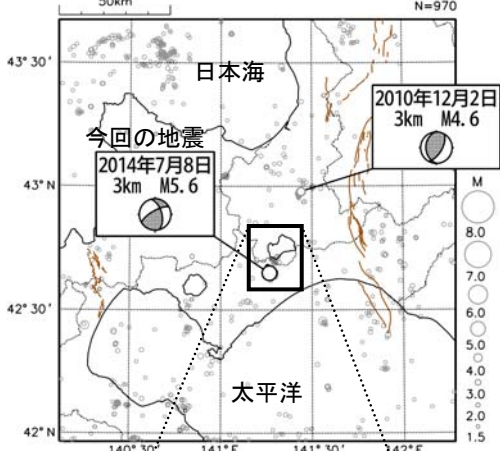


# 7月8日 胆振地方中東部の地震

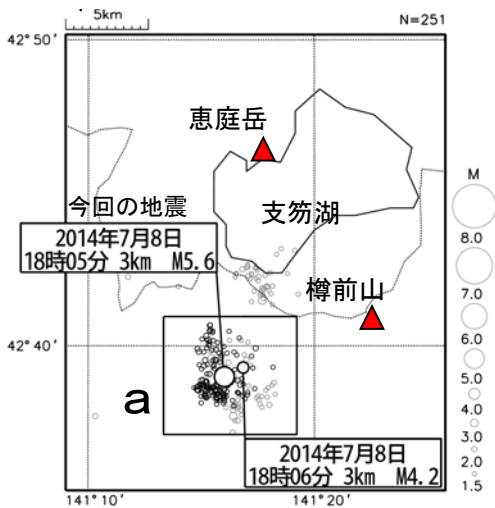
情報発表に用いた震央地名は「石狩地方南部」である。

震央分布図  
(2001年10月1日～2014年7月31日、  
深さ0～30km、 $M \geq 1.5$ )  
2014年7月の地震を濃く表示

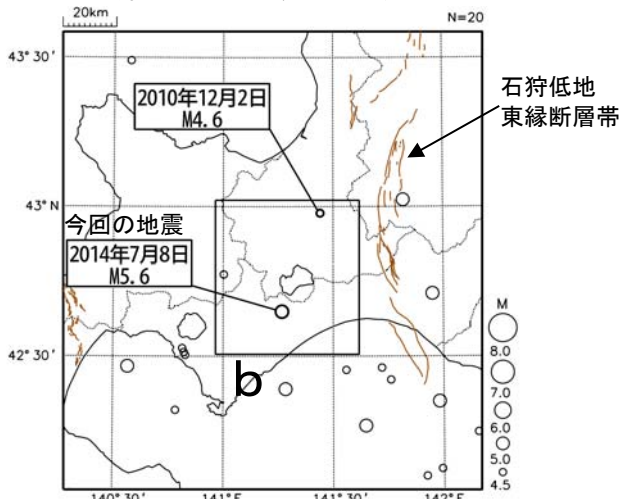


図中の細線は地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す

上図の矩形領域内の拡大図 (深さ0～15km)



震央分布図  
(1923年1月1日～2014年7月31日、  
深さ0～60km、 $M \geq 4.5$ )



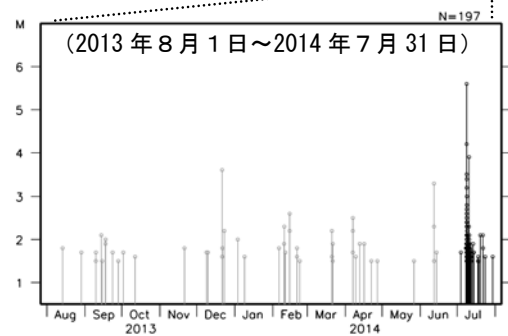
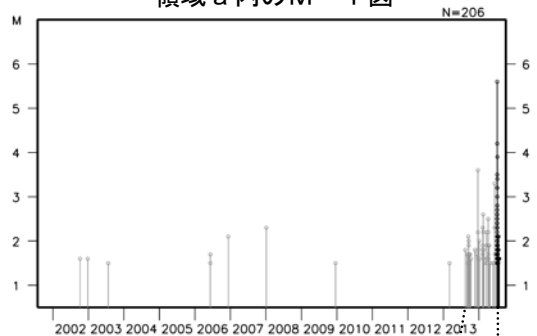
図中の細線は地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す

2014年7月8日18時05分に胆振地方中東部の深さ3kmでM5.6の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震により、負傷者3人などの被害を生じた(北海道による)。10日までに震度1以上を観測する余震が7回(最大規模の地震は8日18時06分のM4.2の地震(最大震度3))発生したが、その後、余震回数は減少している。なお、今回の地震の発生前後で樽前山の火山活動に特段の変化は認められない。

2001年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域a)では、2013年8月からM2～3程度の地震がしばしば発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、2010年12月2日に石狩地方中部で発生したM4.6の地震(最大震度3)により、ガラスのひび割れ、天井の亀裂、斜面の崩れなどの被害を生じた(「日本被害地震総覧」による)。

領域a内のM-T図



領域b内のM-T図

